

以上、深く感謝します。

なお、10分間雨量のデータは、気象研究所、福岡管区気象台、広島地方気象台(昭和42年度科学技術庁調整費)により、準備しました。また、データのプロットと若干の計算の一部は、気象庁電子計算室で行ないました。

#### 参考文献

平野 博, 1969: 昭和42年7月9日のうず状エコーについて, 福岡管区気象研究会誌, 第30号, 40—43.

気象庁, 1968: 昭和42年7月豪雨調査報告, 気象庁技術報告, 第63号, 224ページ.

北岡 龍海, 1967: “昭和42年7月豪雨”についての一つの見方——特に地形の影響について——気象, No. 125, 2—5.

Matsumoto, S., 1968: Smaller Scale Disturbance in the Temperature Field around a Decaying Typhoon with Special Emphasis on the Severe Precipitation, *J. Meteor. Soc. Japan*, **46**, 483—495.

Matsumoto, S. and T. Akiyama, 1969: Some Characteristic Features of the Heavy Rainfalls Observed over the Western Japan on July 9, 1967 Part 1: Mesoscale Structure and short Period Pulsation, *J. Meteor. Soc. Japan*, **47**, 255—266.

Matsumoto, S. and Y. Tsuneoka, 1969: Some Characteristic Features of the Heavy Rainfalls Observed over the Western Japan on July 9, 1967. Part 2: Displacement and Life Cycle of Mesoscale Rainfall Cells, *J. Meteor. Soc. Japan*, **47**, 267—278.

中島 暢太郎・後町 幸雄, 1968: 昭和42年7月豪雨の特性について, 京大防災年報, 第11号, 35—45.

高橋 浩一郎, 1968: 降雨の微細構造, 災害科学研究会プリント, 31ページ.

山中 陸男, 1968: 強雨域の移動と変化および地上天気図, レーダーエコーとの関連, 福岡管区気象研究会誌, 第29号, 171—174.

### 第7回大気電気研究会開催のお知らせ

期日 6月15日(木), 16日(金)

場所 名古屋大学空電研究所

(豊川市市田町下中野68)

有志の方の佐久島観測所(空電研所属)

見学を6月17日(土)を予定しております。

詳細は下記にお問合せ下さい。

東京都田無市向台町 5—4—1

電子技術総合研究所 中谷 茂

0424—61—2141 内線 752